

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称（製品名）

製造業者/会社

住所

EPU 41 Part B

Carbon Technologies Nippon, KK

Oak Minami Azabu 2F

3-19-23 Minami Azabu

Minato Ku, Tokyo, 日本

106-0047

現地連絡先電話番号

+81-03-4580-1458

現地連絡先電子メール

info@carbon3D.com

一般情報

電話番号

Carbon, Inc.

1-650-285-6307

メール

info@carbon3D.com

緊急連絡電話番号

日本

危険物質事故時専用（流出、漏えい、火災、ばく露または事故）、CHEMTREC連絡先、1日24時間/週7日対応：

81-345209637

国際

(+1) 1-703-741-5970

米国, カナダ

(+1) 1-800-424-9300

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

3D印刷用樹脂。

使用上の制限

知見なし。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

GHS分類基準に該当しない。

健康に対する有害性

急性毒性（経口）

区分4

急性毒性（経皮）

区分3

急性毒性（吸入）

区分2

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

区分1A

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

区分1

特定標的臓器毒性、反復ばく露

区分1（副腎、血液、心臓、腎臓、肝臓）

環境に対する有害性

水生環境有害性（急性）

区分2

水生環境有害性（長期間）

区分2

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込むと有害。皮膚に接触すると有毒。重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。吸入すると生命に危険。長期にわたる、又は反復暴露による臓器（副腎、血液、心臓、腎臓、肝臓）の障害。長期継続的影響によって水生生物に毒性。

注意書き

安全対策

ミストを吸入しないこと。取扱い後はよく洗うこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。環境への放出を避けること。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。呼吸用保護具を着用すること。

応急措置

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。漏出物を回収すること。

保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地域/地方/国/国際規則に従って廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候	焼けるような痛みおよび重篤な腐食性の皮膚損傷。 重篤な眼の損傷。 症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがあります。 失明等の永久的な眼の損傷がおこる可能性があります。 浮腫。 黄疸。 長期にわたる暴露により慢性影響をうけることがある。
非常事態の概要	吸入すると生命に危険。 皮膚に接触すると有毒。 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。 水路に排出されると環境に対して危険である。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質	官報公示整理番号			
成分	CAS番号	化審法	安衛法	含有量 (%)	
2, 2'-ジメチル-4, 4'-メチレンビス(シクロヘキシルアミン)	6864-37-5	(4)-102	(4)-102	98-100	

化学式	C15H30N2 (6864-37-5)
組成情報	特に明記しない限り、全ての濃度は重量パーセントで示される。

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 必要に応じて酸素または人工呼吸。 被災者が本物質を吸引した場合は口うつし人工呼吸を行ってはならない。 一方弁を備えたポケットマスクまたはその他の適切な呼吸医療機器を用いて人工呼吸を誘発する。 直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類すべてを直ちに脱ぐ。 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。 直ちに医師に連絡すること。 化学やけどは医師による手当てを受けなければならない。
目に入った場合	直ちに多量の流水で最低15分間眼を洗浄する。 コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。 その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	直ちに医師に連絡すること。 口をすすぐこと。 嘔吐させない。 もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	焼けるような痛みおよび重篤な腐食性の皮膚損傷。 重篤な眼の損傷。 症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがあります。 失明等の永久的な眼の損傷がおこる可能性があります。 黄疸。 長期にわたる暴露により慢性影響をうけることがある。
応急措置をする者の保護	汚染された衣類すべてを直ちに脱ぐ。 気分がすぐれないときは医療処置についてアドバイスを求める。(可能ならばラベルをみせる) 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。 この安全データシートを担当医に見せる。
医師に対する特別な注意事項	一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。 化学やけど：直ちに水で洗い流す。 洗いながら火傷の部分に付着していない衣服を取り除く。 救急車を呼ぶ。 病院への搬送中も水洗いを続ける。 被災者を保温する。 被災者の観察を続ける。 症状は遅れて出てくることがある。

5. 火災時の措置

消火剤	耐アルコール泡。 粉末。 二酸化炭素 (CO2)。
使ってはならない消火剤	消火に水噴射をしない。 これは火災を拡散することになる。 物質は水と反応する。
火災時の特有の危険有害性	火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。 燃焼生成物には以下が含まれるおそれがある：炭素酸化物、窒素酸化物類。
特有の消火方法	未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。 危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。 危険有害性廃棄物の可能性がある廃棄物としてリサイクルまたは廃棄できるよう、流去水を回収すること。
消火を行う者の保護	火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。
一般的な火災の危険性	物質は火災時に燃焼する。
特定の消火方法	通常の消火手順を用いる。 影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。 こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。 清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。 ミスト又は蒸気を吸入しないこと。 適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。 十分な換気を確認する。 流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。 個人用保護具については、本SDSの項目8を参照。
環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。 全ての環境流出に該当する管理または監視要員に通知すること。 安全を確認してから、もれやこぼれを止める。 下水や水路、地面に排出しない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	大量の漏出： リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。 可能な場合は漏出物をせき止める。 パーミキュライト、乾いた砂または土に吸収し、容器に収納する。 製品回収後、その付近を水で洗い流す。 汚染された洗いを保持し、処理する。 少量の漏出： 吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。 残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。 絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。 廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照。 環境への放出を避けること。
二次災害の防止策	

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策（局所排気、全体換気等）	屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

安全取扱い注意事項	ミスト又は蒸気を吸入しないこと。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 味を見たり飲み込んだりしてはならない。 使用中は飲食や喫煙をしない。 取扱い後は手をよく洗うこと。 環境への放出を避けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 産業衛生に気を配る。 本SDSの項目8で推奨されている個人用保護具を使用すること。
接触回避 適切な衛生対策	詳細については、本SDSの項目10を参照。 飲食物から遠ざける。 本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。
保管 安全な保管条件 安全な容器包装材料	施錠して保管すること。 容器を密閉しておくこと。 換気の良い場所で保管すること。 混触禁止物質から離して保管すること（本SDSの項目10を参照）。 湿気を遮断すること。 元の容器に密閉して保管する。
8. 暴露防止及び保護措置 許容濃度（暴露限界値）および 管理濃度 設備対策	含有成分に関して暴露限界は設定されていない。 適切な全体換気を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空气中濃度を暴露限界値以下に保つ。暴露限界値が設定されていない場合も、空气中の濃度を適切な濃度以下に抑える。 この製品は、洗眼設備および緊急用シャワーがあるところで扱わなければならない。
保護具 呼吸器の保護具 手の保護具 目の保護具 皮膚及び身体の保護具	適切な呼吸用保護具を着用する。 適切な呼吸用保護具の選択は、資格を持つ専門家が行わなければならない。 推奨される使用法：全面形面体を備えた防じん機能付き防毒マスク。 適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。 適切な手袋は、手袋の専門業者に推奨してもらうこともできる。 液体を取り扱う際は、全面形面体を備えた呼吸用保護具を着用している場合を除き、耐薬液飛沫型の化学安全ゴーグル及びフェイスシールドを着用すること。 適切な耐化学薬品性の衣服を着用する。 不浸透性エプロンの使用が望ましい。
9. 物理的及び化学的性質 外観 物質の状態 形状 色 臭い pH 融点・凝固点 沸点、初留点と沸騰範囲 引火点 燃焼性（固体、ガス） 燃焼又は爆発範囲 燃焼範囲一下限(%) 燃焼又は爆発範囲一上限 蒸気圧 蒸気密度 比重 溶解度 水溶性 n-オクタノール／水分配係数 自然発火温度（発火点） 分解温度 粘度（粘性率） その他の情報 絶対粘度 爆発性状 分子式 分子量 酸化能力	液体。 液体。 無色ないし淡黄色。 アンモニア様。 11 (3.6 g/l (水性の), 20 °C (68 °F)) -7 - -1 °C (19.4 - 30.2 °F) 204.5 - 215.5 °C (400.1 - 419.9 °F) (27 hPa) 347 °C (656.6 °F) (1013 hPa) 176.0 °C (348.8 °F) 密閉式 該当しない。 データなし。 データなし。 0.0003 hPa (30 °C (86 °F)) データなし。 データなし。 2.01 g/l (20 °C (68 °F)) 2.3 (log Pow) (20 °C (68 °F)) 275 °C (527 °F) データなし。 データなし。 142 mPa.s (20 °C (68 °F)) 爆発物でない。 C15H30N2 238.42 g/mol 酸化性でない。
10. 安定性及び反応性 反応性 化学安定度 危険有害反応可能性 避けるべき条件 混触危険物質	水と反応する。 通常状態で安定。 一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。 混触危険物質との接触。 過剰加熱。 水や湿気との接触を避ける。 強酸化剤。 酸。 一部の金属を腐食する。 水。

危険有害な分解生成物		危険有害な分解生成物は知られていない。	
11. 有害性情報			
急性毒性		吸入すると生命に危険。 皮膚に接触すると有毒。 飲み込むと有害。	
製品	種	試験結果	
2, 2'-ジメチル-4, 4'-メチレンビス(シクロヘキシルアミン) (CAS 6864-37-5)			
急性吸入ミスト			
LC50	ラット	0.42 mg/l, 4 時間	
経口LD50		ラット	
		320 - 460 mg/kg	
経皮LD50		ウサギ	
		200 - 400 mg/kg	
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		重度の皮膚の火傷を生じる。	
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		重篤な眼の損傷。	
呼吸器または皮膚感作性			
呼吸器感作性		呼吸器感作性物質でない。	
皮膚感作性		この製品は、皮膚感作を引き起こすとは思われない。	
生殖細胞変異原性		本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。	
発がん性		ヒトへの発がん性を分類できない。	
生殖毒性		この製品は、生殖影響または発達影響を引き起こすとは予想されない。	
特定標的臓器毒性 (単回暴露)		分類基準に該当しない。	
特定標的臓器毒性 (反復暴露)		長期にわたる、又は反復暴露による臓器 (副腎, 血液, 心臓, 腎臓, 肝臓) の障害。	
吸引性呼吸器有害性		吸引性呼吸器有害性でない。	

12. 環境影響情報

環境影響データ		種	試験結果
製品			
2, 2'-ジメチル-4, 4'-メチレンビス(シクロヘキシルアミン) (CAS 6864-37-5)			
水生			
急性			
甲殻類	EC50	オオミジンコ	15.2 mg/l, 48 時間
藻	EC50	イカダモ(Scenedesmus subspicatus)	> 5 mg/l, 72 時間
魚類	LC50	Leuciscus idus	22 - 46 mg/l, 96 時間
生態毒性		長期継続的影響によって水生生物に毒性。	
残留性/分解性		この物質の分解性に関して利用可能なデータはない。	
生体蓄積性		オクタノール/水分分配係数が低いことから生体に蓄積するとは予測されない。	
生体内蓄積の可能性			
オクタノール／水分分配係数 log Kow			
2.3, (log Pow)			
土壌中の移動性		製品は水にわずかに溶ける。	
オゾン層への有害性		データなし	
他の有害影響		知見なし。	

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	現地の規定に従い、処分する。 空の容器または内張には製品残渣が残っているおそれがある。 この物質およびその容器は、安全な方法で廃棄しなければならない。
汚染容器及び包装	製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。
地域の廃棄規制	廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。 本物質を下水 / 水道供給経路に流入させてはならない。 薬剤または使用済容器で、池、水路、溝を汚染しないでください。 内容物／容器を地域／地方／国／国際規則に従って廃棄すること。 自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

14. 輸送上の注意

IATA	
UN number	2927
UN proper shipping name	Toxic liquid, corrosive, organic, n.o.s. (2, 2'-Dimethyl-4, 4'-methylenebis(cyclohexylamine))
Transport hazard class(es)	
Class	6.1
Subsidiary risk	8

Packing group	II
Environmental hazards	Yes
ERG Code	6C
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
IMDG	
UN number	2927
UN proper shipping name	TOXIC LIQUID, CORROSIVE, ORGANIC, N. O. S. (2, 2'-Dimethyl-4, 4'-methylenebis(cyclohexylamine))
Transport hazard class(es)	
Class	6.1
Subsidiary risk	8
Packing group	II
Environmental hazards	
Marine pollutant	Yes
EmS	F-A, S-B
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
MARPOL73/78条約の附属書II及びIBCコードによるバルク輸送一般情報	未確定。
国内規制	IMDGに定める海洋汚染物質。 国内輸送については15章の規制に従うこと。
15. 適用法令	
労働安全衛生法	
通知対象物	該当せず。
表示対象物	該当せず。
毒物及び劇物取締法	
特定毒物	該当せず。
毒物	該当せず。
劇物	該当せず。
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律	
第一種特定化学物質	該当せず。
第二種特定化学物質	該当せず。
監視化学物質	該当せず。
優先評価化学物質	該当せず。
化学物質排出把握管理促進法	
特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)	該当せず。
第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)	該当せず。
第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)	4, 4'-メチレンビス(2-メチルシクロヘキサミン) 政令番号 97 (2, 2'-ジメチル-4, 4'-メチレンビス(シクロヘキシルアミン))
消防法	第四類第三石油類(非水溶性液体) 危険等級III (許容量: 2000 l)
船舶安全法・危規則	毒物類
航空法・施行規則	毒物類
火薬類取締法	
該当せず。	
16. その他の情報	
引用文献	
ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices HSDB® - Hazardous Substances Data Bank IARC発がん性評価モノグラフ National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens 日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告 日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月 JIS Z 7252 : 2014 GHS に基づく化学品の分類方法 JIS Z 7253 : 2012 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)	
Carbon, Inc. は、本情報と当社製品、または当社製品と他のメーカーの製品の組み合わせが使用されるあらゆる状況を予測できるわけではありません。製品の処理、保管および処分を行う際に安全な状況を確認するのはユーザーの責任であり、ユーザーは不適切な使用による損失、傷害、損害または費用に法的責任を負います。シート情報は、現在入手できる最高の知識と経験に基づき記入されています。	